

4.8 地域交通

4.8.1 地域交通（交通安全、交通混雑）

環境影響評価の対象は、工事用車両及び施設関連車両の走行による交通安全及び交通混雑への影響とする。

(1) 現況調査

① 調査項目

計画地及びその周辺における地域交通の状況等を把握し、工事用車両及び施設関連車両に伴う交通安全及び交通混雑に係る影響について、予測及び評価の基礎資料を得ることを目的として、次の項目について調査を行った。

(ア) 地域交通の状況

- a 日常生活圏等の状況（公共施設等の位置、通学区域、通学路の状況、公共交通機関の状況）
- b 道路の状況（道路の分布状況、自動車交通量等の状況）
- c 交通安全の状況（交通安全対策の状況、交通事故の発生状況）

(イ) 地形等の状況

(ウ) 土地利用の状況

(エ) 道路等に係る計画等

(オ) 関係法令等による基準等

② 調査地域・調査地点

a. 地域交通の状況

- (a) 日常生活圏等の状況（公共施設等の位置、通学区域、通学路の状況、公共交通機関の状況）

計画地及びその周辺とした。

- (b) 道路の状況（道路の分布状況、自動車交通量等の状況）

ア. 道路の分布状況

計画地及びその周辺とした。

イ. 自動車交通量等の状況

a) 既存資料調査

既存資料調査における自動車交通量の調査地点は、計画地周辺の「道路交通センサス」の調査地点（一般国道 466 号[第三京浜道路]他、全 35 地点）とし、「第 2 章 2.1.7 交通、運輸の状況 (1) 道路の状況」(p. 57～60)に示したとおりである。

b) 現地調査

i 自動車交通量

現地調査における自動車交通量の調査地点は、図 4.8.1-1 に示すとおりである。自動車交通量の調査地点は、工事用車両及び施設関連車両が集中・分散する交差点 3 地点とした。自動車交通量等の調査地点の詳細図は、図 4.8.1-2 に示すとおりである。

ii 滞留長、渋滞長、車頭時間、信号現示、道路構造及び交通規制の状況

現地調査における滞留長及び渋滞長の調査地点及び調査範囲は、図 4.8.1-3 に示すとおりである。現地調査における自動車交通量と同様の交差点 3 地点とした。

(c) 交通安全の状況（交通安全対策の状況、交通事故の発生状況）

ア. 交通安全対策の状況

計画地及びその周辺の工事用車両及び施設関連車両の走行ルートである一般国道 246 号、一般国道 409 号、一般国道 466 号、一般市道厚木東京線を対象とした。

イ. 交通事故の発生状況

計画地及びその周辺とした。

b. 地形等の状況

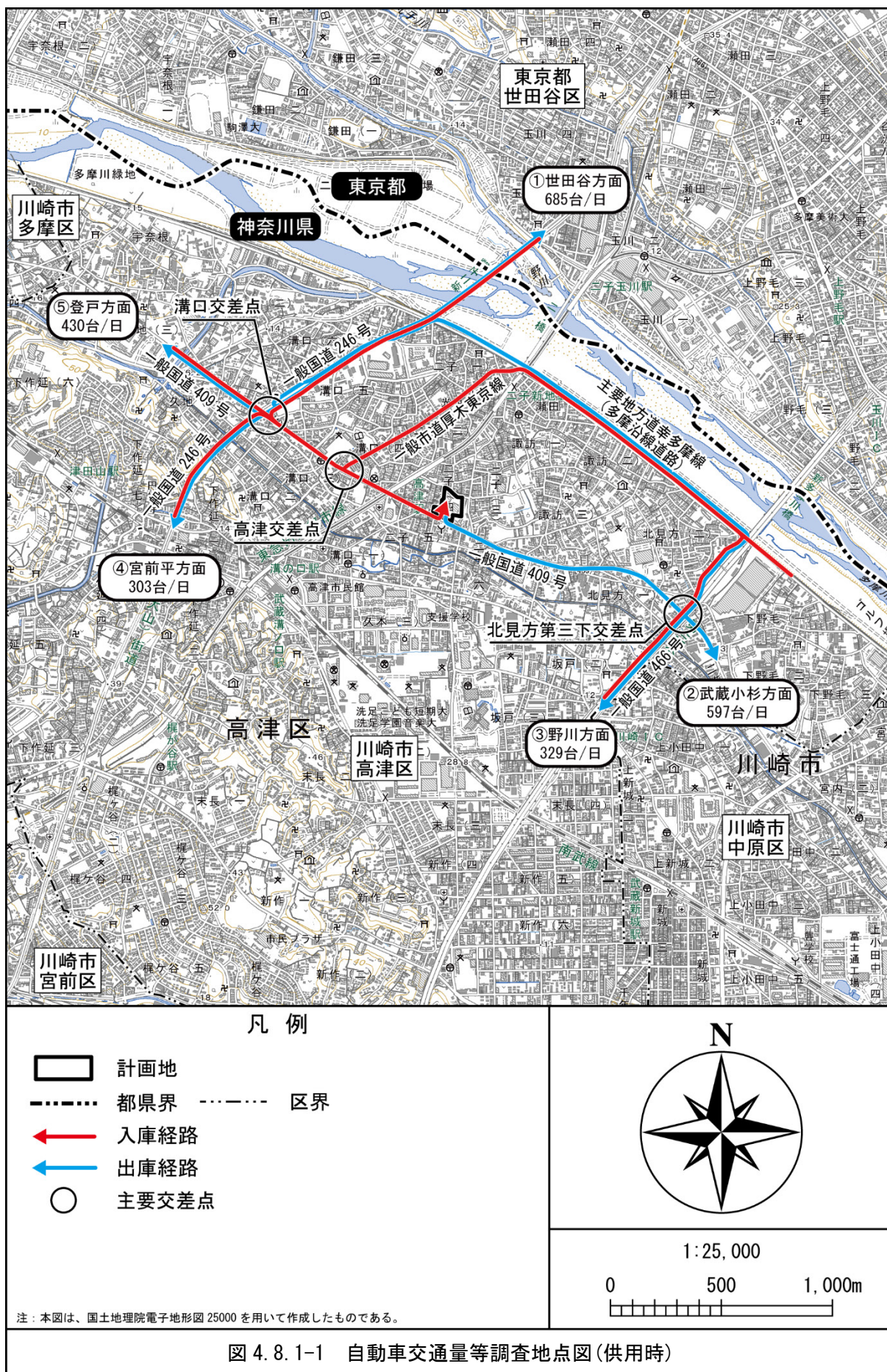
計画地及びその周辺とした。

c. 土地利用の状況

計画地及びその周辺とした。

d. 道路等に係る計画等

計画地及びその周辺とした。



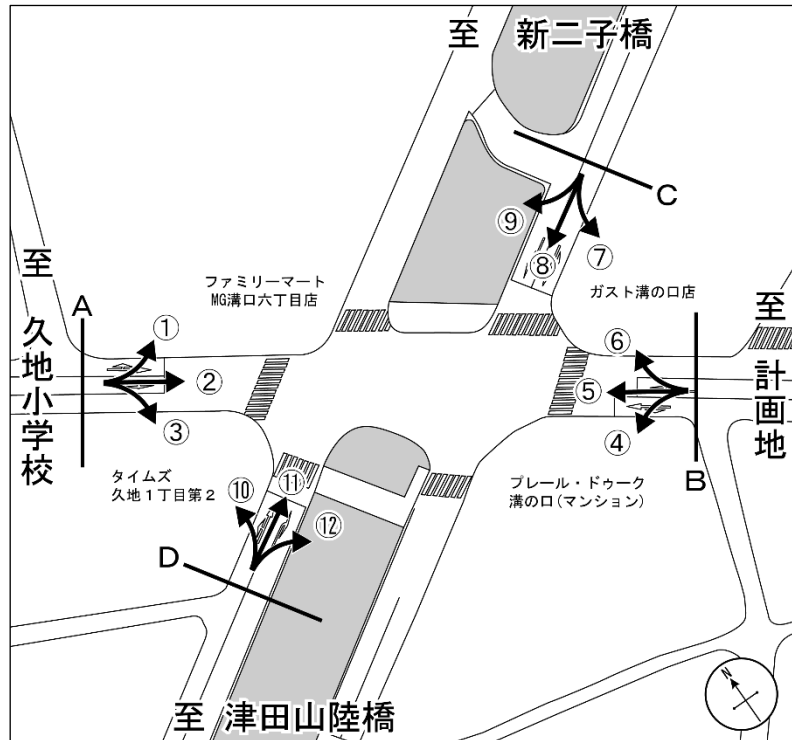


図 4. 8. 1-2 (1) 自動車交通量等の調査地点詳細図 (No. 1 溝口交差点)

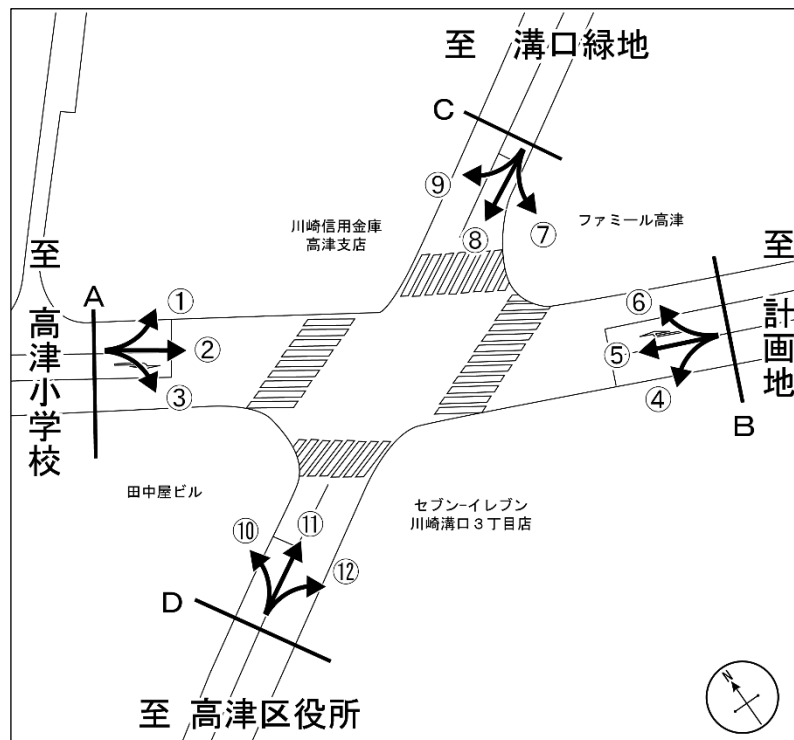


図 4. 8. 1-2 (2) 自動車交通量等の調査地点詳細図 (No. 2 高津交差点)

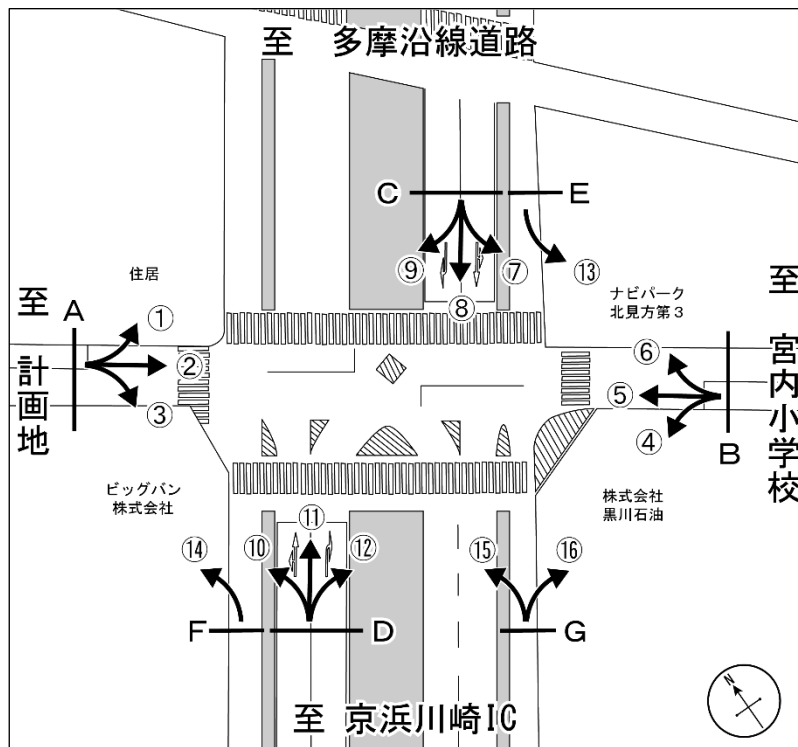


図 4. 8. 1-2 (3) 自動車交通量等の調査地点詳細図 (No. 3 北見方第三下交差点)



③ 調査期間・調査時期

a. 地域交通の状況

(a) 日常生活圏等の状況（公共施設等の位置、通学区域、通学路の状況、公共交通機関の状況）

調査時期は、令和 6 年度とした。

(b) 道路の状況（道路の分布状況、自動車交通量等の状況）

ア. 道路の分布状況

調査時期は、令和 6 年 12 月 1 日（日）とした。

イ. 自動車交通量等の状況

a) 既存資料調査

調査期間は「道路交通センサス」実施時期の平成 22 年度、平成 27 年度及び令和 3 年度とした。

b) 現地調査

i 自動車交通量

自動車交通量等の調査時間は、平日・休日の 17 時間調査とした。

<調査時間>

[No. 1 溝口交差点、No. 2 高津交差点、No. 3 北見方第三下交差点]

平日：令和 6 年 12 月 2 日（月）6:00～23:00

休日：令和 6 年 12 月 1 日（日）6:00～23:00

ii 滞留長、渋滞長、車頭時間、信号現示、道路構造及び交通規制の状況

自動車滞留長、渋滞長、信号現示の調査時間は、平日・休日の 17 時間調査とした。

<調査時間>

平日：令和 6 年 12 月 2 日（月）6:00～23:00

休日：令和 6 年 12 月 1 日（日）6:00～23:00

平日は大型車が多く、飽和交通流率が低くなる為、安全側の調査として平日とした。
また、午前ピークは渋滞や先詰まりがあり、十分な調査データを得られない場合が多い。従って、平日の午後ピークを含む 3 時間帯とした。

平日：令和 6 年 12 月 2 日（月）16:00～19:00

道路構造及び交通規制の状況の調査は、自動車交通量調査期間内に適宜実施した。

(c) 交通安全の状況（交通安全対策の状況、交通事故の発生状況）

ア. 交通安全対策の状況

調査期間は、自動車交通量等の現地調査期間中とした。

イ. 交通事故の発生状況

高津区における調査期間は、令和元年～令和5年の5年間、調査地点付近における調査期間は、令和元年～令和5年の5年間とした。

④ 調査方法

a. 地域交通の状況

(a) 日常生活圏等の状況（公共施設等の位置、通学区域、通学路の状況、公共交通機関の状況）

川崎市 HP 等からの情報の収集・整理により、周辺の公共施設等の位置を把握し、「ガイドマップかわさき」からの情報の収集・整理により、計画地を含む事業区域の周辺の通学区域を把握し、周辺の通学路の状況は教育委員会へのヒアリング等により把握した。鉄道及びバス運営事業者の HP 等からの情報の収集・整理により、公共交通機関の状況を把握した。

(b) 道路の状況（道路の分布状況、自動車交通量等の状況）

ア. 道路の分布状況

「ガイドマップかわさき」等の既存資料の収集・整理及び現地踏査により、周辺の生活道路及び主要幹線道路の分布、道路幅員及び交通規制の状況を把握した。

イ. 自動車交通量等の状況

a) 既存資料調査

「道路交通センサス」からの情報の収集・整理により、周辺の自動車交通量等の状況を把握した。

b) 現地調査

i 自動車交通量

調査地点を通過する車両台数を方向別、時間別、車種別（大型車、小型車）にハンドカウンターを用いて計測する方法とした。

車種については、ナンバープレートの車頭番号により、表 4.8.1-1 に示すとおり分類した。

表 4.8.1-1 車種分類表

車種分類	ナンバープレート車頭番号
大型車	1, 2, 9, 0 ナンバー
小型車	3, 4, 5, 6, 7 ナンバー

注：8 ナンバーの特種車両は、形状で上記いずれかの車種へ分類した。

ii 滞留長、渋滞長、車頭時間、信号現示、道路構造及び交通規制の状況

滞留長は、信号が赤から青に変わる瞬間に滞留している最後尾車両までの停止線からの距離を目視により記録する方法とした。

渋滞長は、滞留時最後尾車両が1回の青信号で交差点を通過できなかった場合の停止線からの距離(但し1回の青信号で通過した場合の渋滞長は、0mとする)を目視により記録する方法とした。

車頭時間は、各サイクルにおいて、先頭から3台目の車両が通過したタイミングから、待ち行列が途切れない状態で最後に通過した車両(最終通過車両)が通過するまでの車頭時間を計測し、その車頭時間の平均値の逆数として飽和交通流率を求めた。

信号現示は、ストップウォッチを用いてサイクル長を計測し、灯器ごとのスプリットを算出する方法とした。

道路構造及び交通規制の状況は、「道路台帳」及び現地踏査により把握した。

(c) 交通安全の状況(交通安全対策の状況、交通事故の発生状況)

ア. 交通安全対策の状況

計画地及びその周辺の主要道路は現地踏査により把握した。

イ. 交通事故の発生状況

高津区内において発生した交通事故の発生件数等を、「神奈川県交通事故統計」(神奈川県 HP)より把握した。また、各交差点の交通事故の詳細については、高津警察署にヒアリングし把握した。

b. 地形等の状況

既存資料収集・整理により、計画地及びその周辺の地形等の状況を把握した。

c. 土地利用の状況

「土地利用現況図(高津区)」等の既存資料の収集・整理により、計画地及びその周辺の土地利用の状況を把握した。

d. 道路等に係る計画等

「(仮称)高津物流施設計画に係る条例環境影響評価準備書」(令和6年8月、日鉄興和不動産株式会社)等の既存資料の収集・整理及び川崎市関係各課へのヒアリングにより、計画地及びその周辺の道路等に係る計画等を把握した。

e. 関係法令等による基準等

「地域環境管理計画」の地域別環境保全水準の内容について整理した。

⑤ 調査結果

a. 地域交通の状況

(a) 日常生活圏等の状況（公共施設等の位置、通学区域、通学路の状況、公共交通機関の状況）

公共施設等の位置については、「第2章 2.1.8 主な公共施設等の状況（p.63～68）」に示すとおりである。

計画地の高津区二子は、図 4.8.1-4 に示すとおり、高津小学校、東高津小学校、坂戸小学校の学校区に属している。また、高津小学校及び東高津小学校の通学路には、工事用車両及び施設関連車両走行ルートが一部重複または横断する箇所があった。

公共交通機関の状況については、「第2章 2.1.7 交通、運輸の状況（p.60～62）」に示すとおりである。

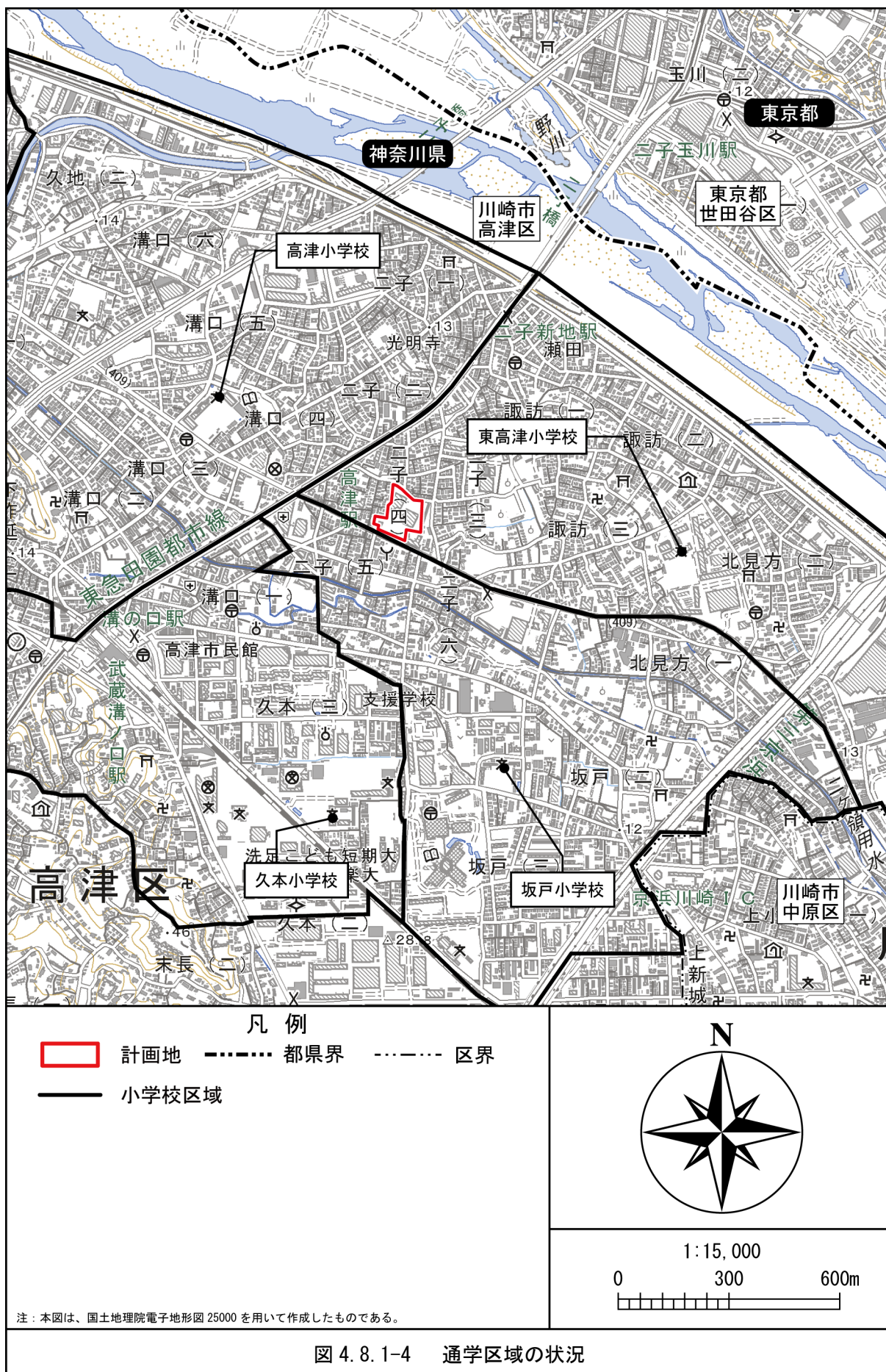
(b) 道路の状況（道路の分布状況、自動車交通量等の状況）

ア. 道路の分布状況

主な道路網として、計画地の南側に近接して一般国道 409 号、北東側約 600m に川崎市主要地方道幸多摩線（多摩沿線道路）、南東側約 1,000m に一般国道 466 号（第三京浜道路）が通っている。

イ. 自動車交通量等の状況

自動車交通量の調査地点における道路幅員及び交通規制の状況は、図 4.8.1-5 に示すとおりである。



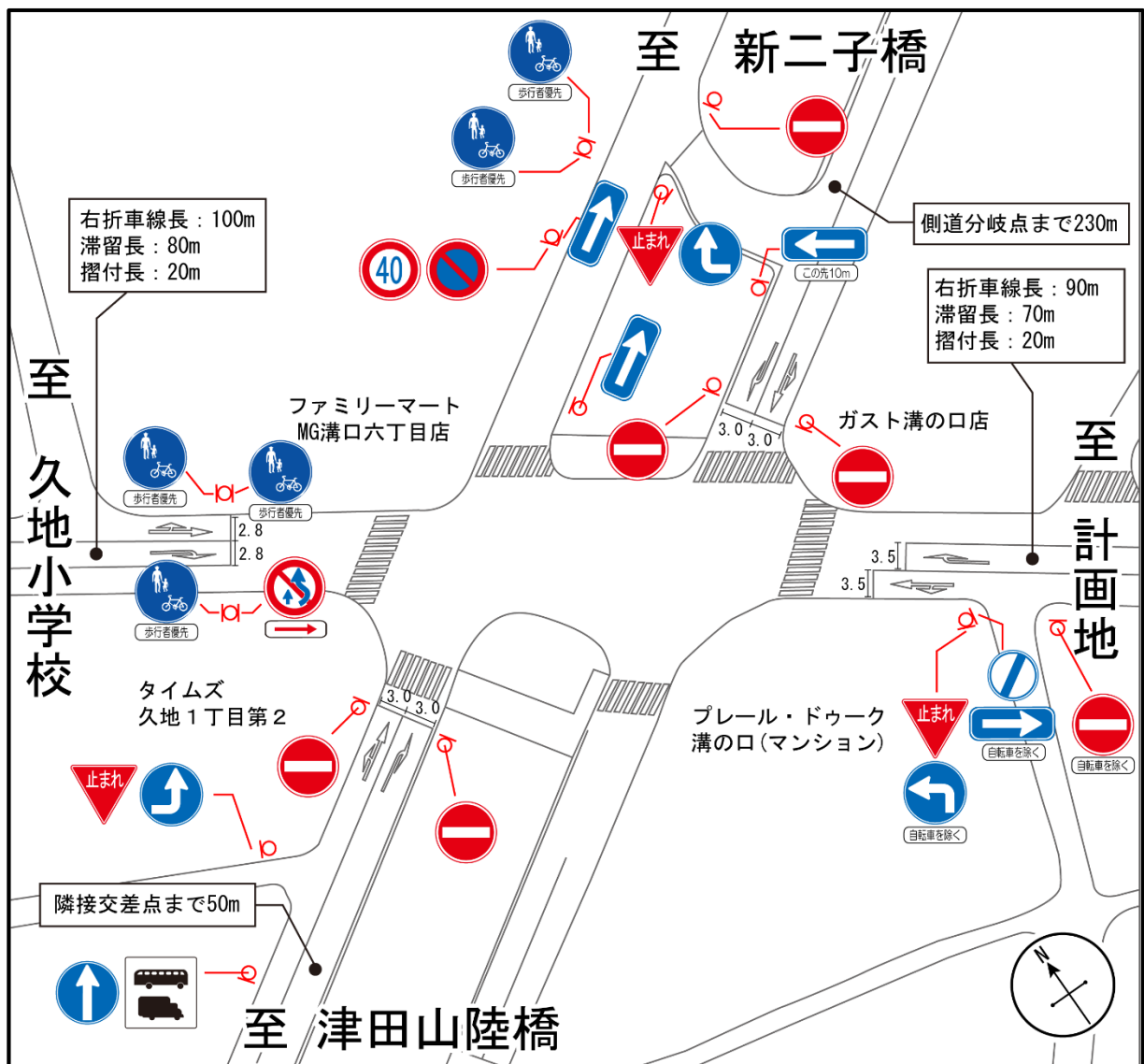


図 4. 8. 1-5 (1) 道路幅員及び交通規制の状況 (No.1 溝口交差点)

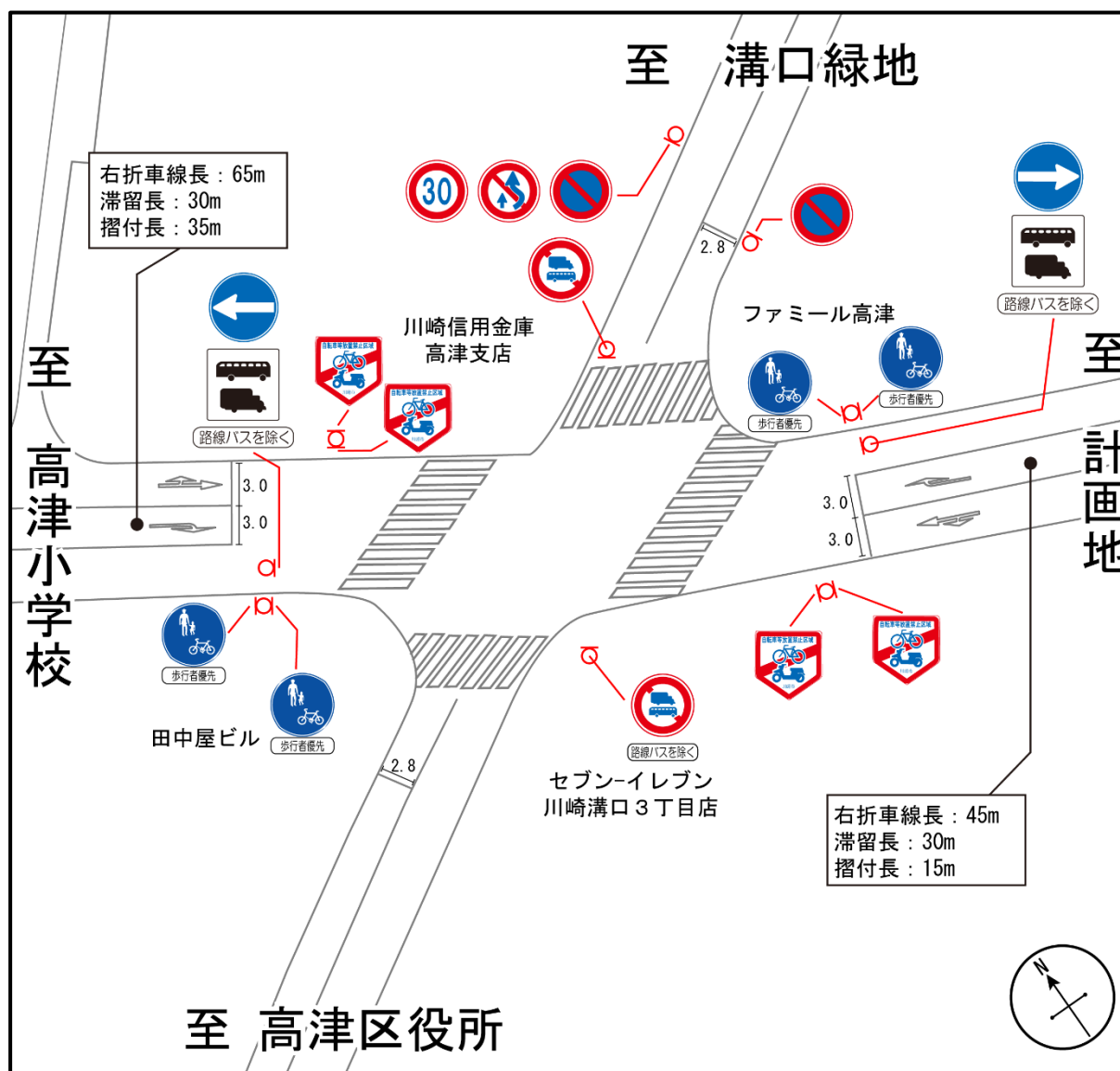


図 4. 8. 1-5 (2) 道路幅員及び交通規制の状況 (No.2 高津交差点)

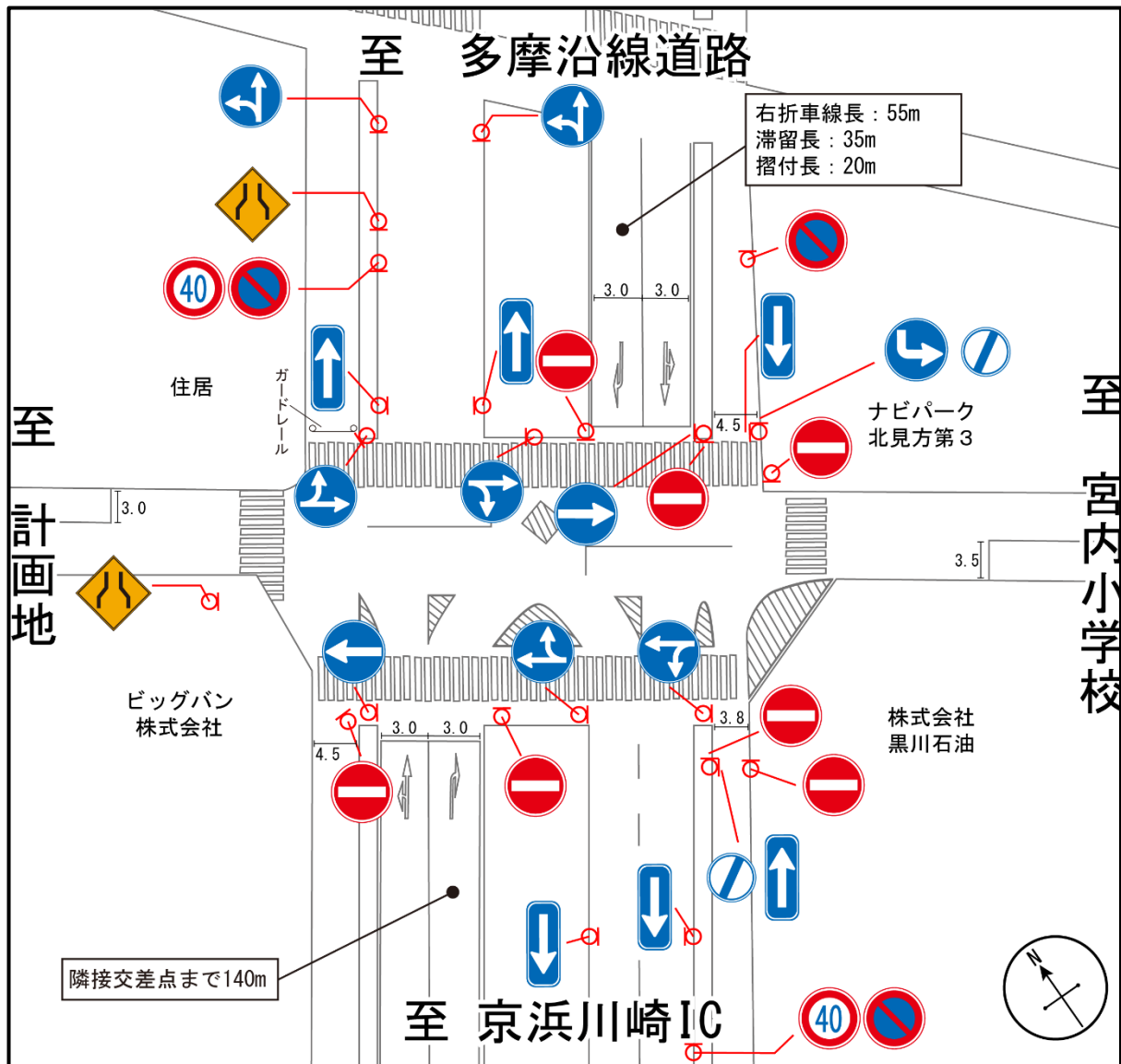


図 4. 8. 1-5 (3) 道路幅員及び交通規制の状況 (No.3 北見方第三下交差点)

ウ. 自動車交通量等の状況

a) 既存資料調査

調査結果は、「第2章 2.1.7 交通、運輸の状況 (1) 道路の状況」(p. 57～60)に示すとおりであり、計画地南側を通る一般国道 409 号（地点㊸：川崎市高津区溝口 3-15-12）の令和 3 年度の交通量（大型車混入率）は昼間 11,756 台（14.7%）、24 時間で 16,789 台（15.1%）であった。

平成 22 年度からの交通量の変化はやや減少傾向であった。

b) 現地調査

i 自動車交通量

自動車交通量の現地調査結果は、表 4.8.1-2 に示すとおりである（詳細は、資料編：p. 資 6-1～32 参照）。各交差点における昼間 12 時間流入交通量は、平日 16,400～18,622 台、休日 15,736～18,459 台であった。また、大型車混入率は、平日 3.9～8.4%、休日 1.6～3.1%あった。

各交差点における流入交通量のピーク時間は、平日 9 時台及び 17 時台、休日 10 時台及び 16 時台であり、流入交通量は平日 1,502～1,754 台、休日 1,482～1,736 台であった。また、大型車混入率は、平日 2.4～10.4%、休日 1.4～2.8%あった。

表 4.8.1-2 自動車交通量調査結果（交差点）

区分	調査地点	流入交通量（12 時間：7～19 時）				ピーク時間流入交通量（1 時間）				
		大型車 （台）	小型車 （台）	合計 （台）	大型車 混入率	ピーク 時間帯	大型車 （台）	小型車 （台）	合計 （台）	大型車 混入率
平日	No. 1(溝口交差点)	1,070	17,552	18,622	5.7%	17 時台	42	1,712	1,754	2.4%
	No. 2(高津交差点)	639	15,761	16,400	3.9%	17 時台	49	1,453	1,502	3.3%
	No. 3(北見方 第三下交差点)	1,455	15,824	17,279	8.4%	9 時台	161	1,382	1,543	10.4%
休日	No. 1(溝口交差点)	297	18,162	18,459	1.6%	16 時台	25	1,711	1,736	1.4%
	No. 2(高津交差点)	331	15,405	15,736	2.1%	10 時台	26	1,456	1,482	1.8%
	No. 3(北見方 第三下交差点)	501	15,492	15,993	3.1%	16 時台	46	1,574	1,620	2.8%